
令和6年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和6年3月4日

質問者（質問順）

- 1 田中 ゆき 委員（立憲党）
- 2 伏見 幸枝 委員（自民党）
- 3 尾崎 太 委員（公明党）

温暖化対策統括本部

局 別 審 査

1 田 中 ゆ き 委 員 (立 憲 党)

1 E Vの普及に向けたインフラ整備について

- (1) 公道充電ステーションの実証実験の成果について伺いたい。
 - (2) 公道充電ステーションの令和6年度の取組について伺いたい。
 - (3) コンビニエンスストアと連携した設置促進の狙いと取組内容について伺いたい。
- (意見) 今後も、新たな視点をもって充電インフラの整備を進めていただくことを期待する。

2 次世代型太陽電池の活用について

- (1) 実証・実装の進め方について伺いたい。
 - (2) 新たな用途開発支援の具体的内容について伺いたい。
 - (3) ペロブスカイト太陽電池の取組については、区局が連携し、産官学民で進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) ペロブスカイト太陽電池の実用化が、本市においていち早く実現するよう、多様な主体が連携し、一体となつての取組をより一層推進していただくよう要望する。
- (要望) 次世代を共に育むまちヨコハマとして、子供たちも共に、脱炭素化や環境保全へ向けての取組をより一層推進していただくことを要望する。

2 伏見幸枝委員（自民党）

1 脱炭素施策の推進について

- (1) 各局から各常任委員会への報告を今年度から初めて実施したことに対する所感について伺いたい。
 - (2) 脱炭素まちづくり推進事業のねらいについて伺いたい。
 - (3) 脱炭素まちづくり推進事業の進め方について伺いたい。
- (意見) 将来的に市民生活への再生可能エネルギーの普及・促進に大きく貢献することが期待できる横浜発のペロブスカイト太陽電池について、早期の社会実装への市の積極的な取組に期待する。

3 尾 崎 太 委員（公明党）

1 若者が脱炭素化・SDGsを自分事化するための取組について

(1) 「YOKOHAMA 未来デザイン部」の設立趣旨と活動状況について伺いたい。

(2) 若い世代の温暖化やSDGsに対する関心を高め、実践につなげていくための取組について伺いたい。

(意見) 引き続き、学校、企業などとも連携を図りながら、若者世代の機運醸成を進めることを期待する。